

# 令和6年度「子供司書」養成講座全体研修

■日時:令和6年7月20日(土) 10:00~16:00

■場所:庄原市田園文化センター

■対象者:「子供司書」養成講座受講者14名(庄原市内小学校第5・6学年希望者)

【目的】児童の中に読書活動を推進するリーダーを育成し、育成したリーダーが学校や地域で読書活動の楽しさを広めていくことで、児童の読書活動の充実を図るとともに、言語活動の充実により学力向上を図る。

## 講話「『子供司書』になろう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 延近 恵



### 【講話の概要】

- 「子供司書」は、子供の読書活動を進めるリーダーである。周りの友達に読書を好きになってもらうよう、読書のよさや楽しさを伝えることが大切である。
- 「子供司書」に認証されるために、これから地域の図書館での実地研修、学校での活動を行っていく。
- 読み語り、ポップ作り、図書館の掲示物やコーナーを工夫することは必ず行い、工夫した活動をしてほしい。

## 講話「『日本十進分類法』を学ぼう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係長兼主任指導主事 小谷 綾子



### 【講話の概要】

- 「日本十進分類法」は本を種類ごとに分類したもので、これにより本の整理や検索を行うことができる。
- 本の内容によって、分類が決まる。そのため、同じようなタイトルでも分類番号が異なることがある。
- 庄原市立図書館の本や持参した本などが、どの分類になるか、実際にラベルや奥付を見て確かめた。

## 講話・演習 「読み語りのプロから学ぼう！」

読書ボランティア「おはなしのいずみ」 代表 立花 有佐



### 【講話・演習の概要】

- 絵本の読み語りは、絵を見せること、絵を伝えることが大切である。
- 読み語りをする際には、本の選書がとても重要である。誰に対してどのような本を読むのかを考えよう。
- 聞き手の目線と本の高さや向きに気を付けよう。聞き手が椅子に座っている時は立って、聞き手が床に座っている時は、椅子に座って読み語りをしよう。
- 絵本の読み語りをするときは、ゆっくり読もう。本を持つ時や本をめくる時に、手で絵を隠さないように。

## 演習 『『おすすめの本のポップを作ろう』大作戦！』

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 延近 恵



### 【演習の概要】

- よりよいポップを作るポイントは6つ。
- ①タイトルや作者名をはっきり分かりやすく書く。
- ②内容を少しだけ紹介する。
- ③キャッチコピーを書く。
- ④輝く言葉を引用する。
- ⑤デザインやイラストを工夫する。
- ⑥どうおもしろいかを書く。

この6つのポイントを生かしながら、自分の紹介したい本のポップを作成した。

## 参加した児童の感想

- ・日本十進分類法を授業で習ったけど、忘れていたので、覚えることができてよかった。
- ・読み語りで、読む相手や季節などに気を付けて本を選び、「この本おもしろい。」と思って聞いてもらえるように練習をしていきたい。
- ・本の持ち方や読み方について教えてもらったので、学校の読み語りで生かしてみようと思った。
- ・読み語りのコツを意識しようと思う。子供司書になるために一生懸命がんばろうと思った。